

# 2013 年度(平成 25 年度)事業計画

学校法人 工学院大学

## 目 次

1. トップメッセージ	1
2. 中期計画「コンパス2017」の目標・重点施策	2
3. 2013年度事業計画骨子	3
4. 重点施策・主要施策	4~6

# 1. トップメッセージ



**理事長 高田 貢**

昨年度は学園創立125周年記念の節目を迎えるにあたり、2009年4月より進めてきました記念事業募金をはじめ教育環境整備事業、各種支援事業、社会貢献事業、学園史編纂事業等の記念事業も、ほぼ計画通り遂行することができました。また、記念日には学内外の関係各位とともに記念式典および祝賀会、キャンパスフェスタ、国際シンポジウム等、有意義なメモリアルイベントを開催することができ、お陰さまで新たな歴史を刻むことができました。

近年、我が国は政治、経済、教育等あらゆる分野で構造変化の時代を迎え、なかでも少子化、グローバル化の進行により、初等・中等および高等教育のシステムの変革が大きくクローズアップされております。昨年文部科学省が公表した『大学改革実行プラン』によれば社会の変革のエンジンとなる大学づくりが求められ、激しく変化する社会における大学の機能の再構築と大学のガバナンスの強化など大学改革の方向性が示されております。

本学園は新年度を迎えるに当たり、次の節目である150周年に向けた第一歩を踏み出す年と位置付け、先達の創立当時の厚い志と建学以来の理念を受け継ぎ、次世代においても継続的発展が可能な学園づくりのための改革が急務となっております。それには「VISION 150」の長期計画の理念のもと、中期計画「コンパス2017」に基づく「2013年度事業計画」を着実に実行し成果をださねばなりません。

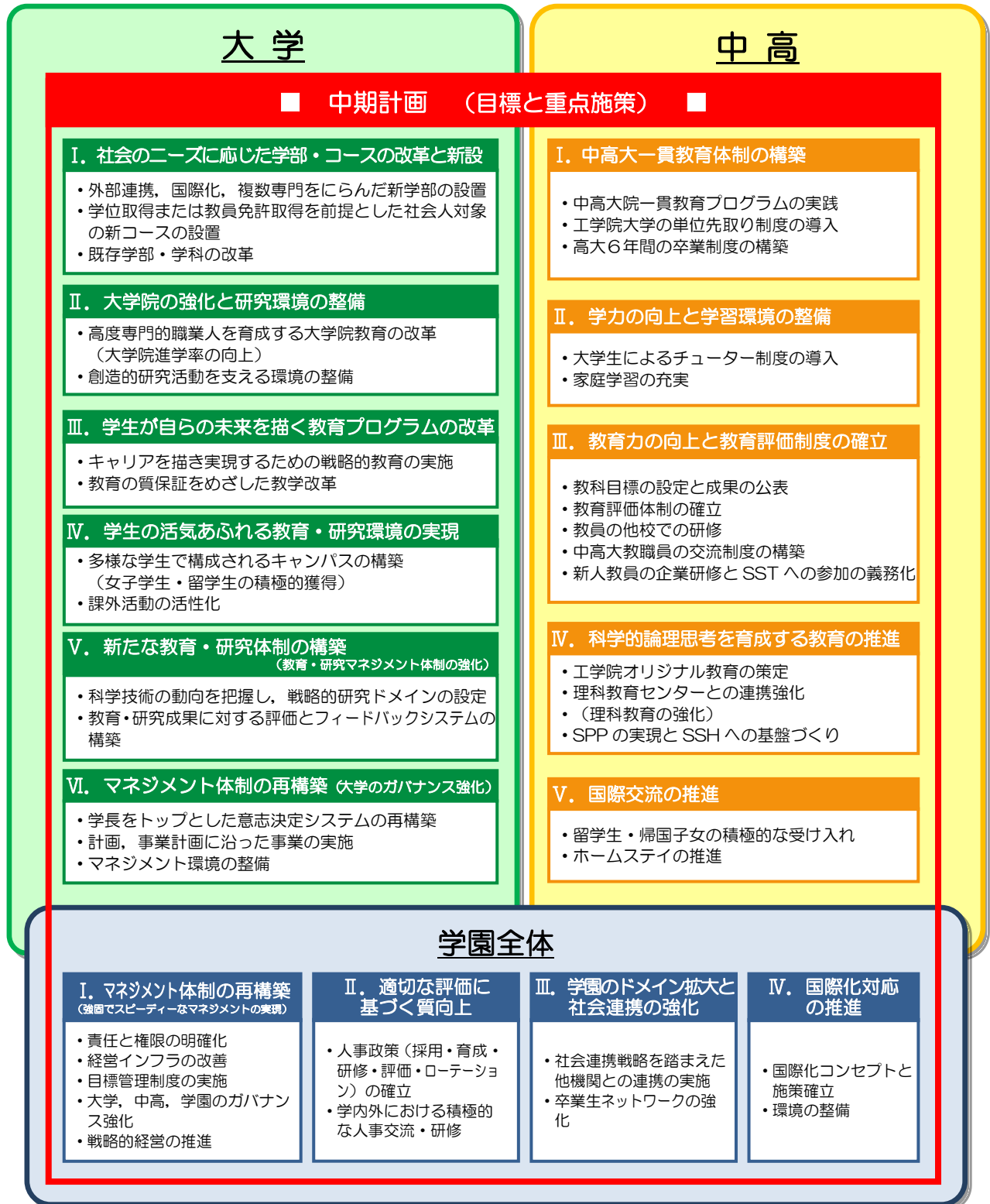
本年度の重点施策の一つとして、組織力の強化により、更なる業務能率アップと迅速かつ強力な業務対応が可能な体制づくりと時代の変化を踏まえた「人事制度改革」に着手し、公平で働き甲斐のある職場環境づくりを進めます。

また、中学・高等学校では少子化や教育環境の変化による受験生の減少が始まり、まもなく大学へと波及してきます。我々は大きく変貌する社会や教育環境の変化を直視し、学園改革に取り組みねばなりません。そして多様化する社会で、学生・生徒の無限の可能性を开花させ活躍出来る人材育成や教育研究ができる学園づくりに教職員が一丸となって鋭意取り組んでまいります。

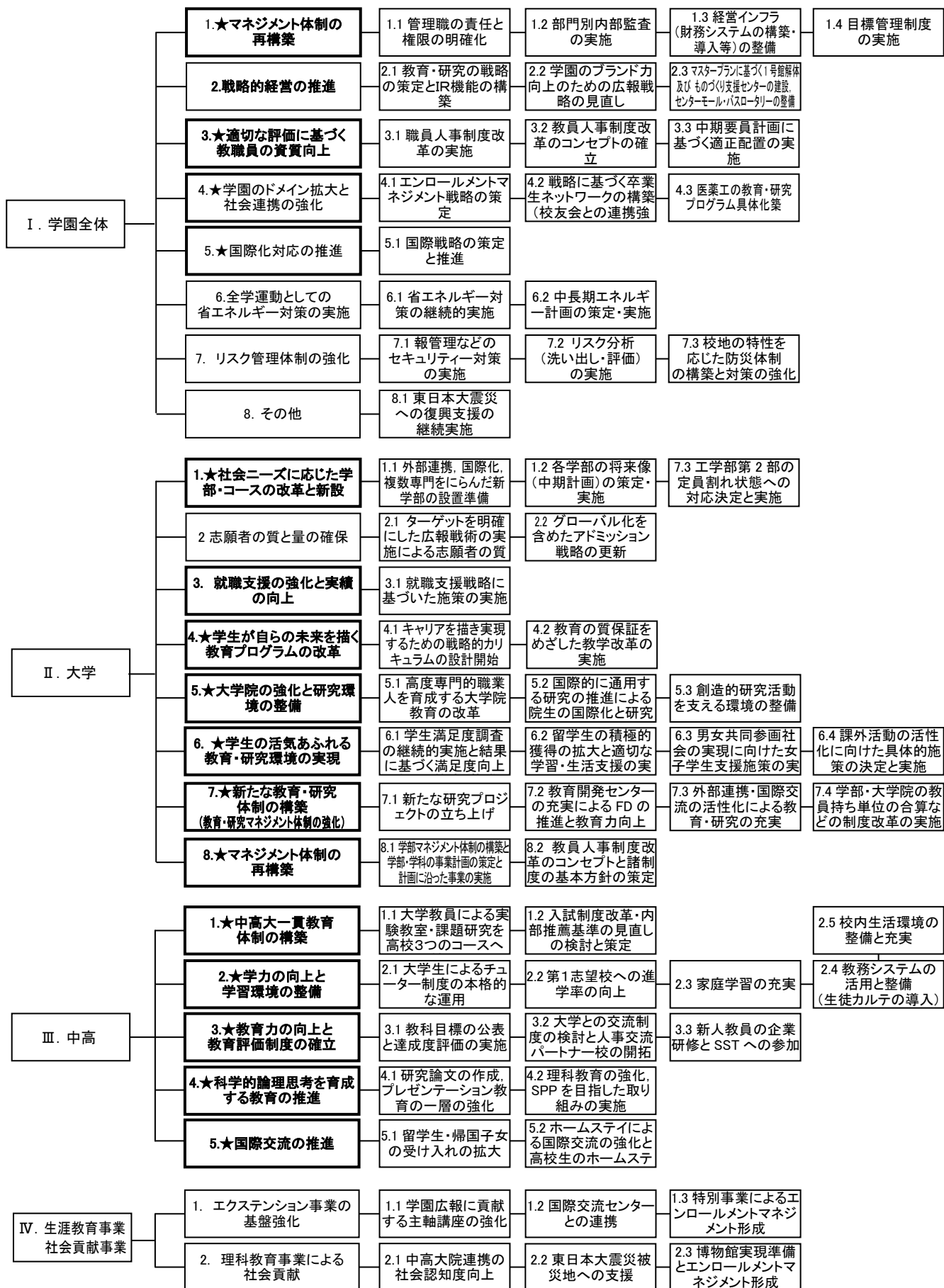
**理事長 高田 貢**

## 2. 中期計画「コンパス2017」の目標・重点施策

2012年度は、特に「マネジメント体制の再構築」を目的に学園の組織変更を実施し、責任と権限の確立を図りました。2年目である2013年度は、「適切な評価に基づく質向上」を目指し、人事制度改革に取り組みます。



### 3. 2013年度事業計画骨子 (★は「コンパス 2017」重点施策)



## 4. 重点施策・主要施策 (★は「コンパス2017」重点施策)

2013年度の事業計画は、新中期計画「コンパス2017」の重点施策と単年度に確実に実行する主要施策から構成されている。

### I. 学園全体

#### 1. ★マネジメント体制の再構築（強固でスピーディーなマネジメントの実現）

- 1.1 組織の役割の徹底と役割に伴う管理職の責任と権限の明確化
- 1.2 部門別内部監査の実施
- 1.3 経営インフラ（財務システムの構築・導入等）の整備
- 1.4 目標管理制度の実施

#### 2. 戦略的経営の推進

- 2.1 教育・研究の戦略の策定とIR機能の構築
- 2.2 学園のブランド力向上のための広報戦略の見直し  
(学園の魅力の発信強化)
- 2.3 マスタープランに基づく1号館解体及びものづくり支援センターの建設、センターモール・バスロータリーの整備

#### 3. ★適切な評価に基づく教職員の資質向上

- 3.1 職員人事制度改革の実施
- 3.2 教員人事制度改革のコンセプトの確立
- 3.3 中期要員計画に基づく適正配置の実施

#### 4. ★学園のドメイン拡大と社会連携の強化

- 4.1 エンrollmentマネジメント戦略の策定
- 4.2 戦略に基づく卒業生ネットワークの構築（校友会との連携強化）
- 4.3 医薬工の教育・研究プログラム具体化

#### 5. ★国際化対応の推進

- 5.1 国際化戦略の策定と推進

#### 6. 全学運動としての省エネルギー対策の実施

- 6.1 省エネルギー対策の継続的実施
- 6.2 中長期エネルギー計画の策定・実施

#### 7. リスク管理体制の強化

- 7.1 情報管理などのセキュリティー対策の実施
- 7.2 リスク分析（洗い出し・評価）の実施
- 7.3 校地の特性に応じた防災体制の構築と対策の強化

#### 8. その他

- 8.1 東日本大震災への復興支援の継続実施

## Ⅱ. 大学

### 1. ★社会のニーズに応じた学部・コースの改革と新設

- 1.1 外部連携，国際化，複数専門をにらんだ新学部の設置準備
- 1.2 各学部の将来像（中期計画）の策定・実施
- 1.3 工学部第2部の定員割れ状態への対応決定と実施

### 2. 志願者の質と量の確保

- 2.1 ターゲットを明確にした広報戦術の実施による志願者の質の確保
- 2.2 グローバル化を含めたアドミッション戦略の更新

### 3. 就職支援の強化と実績の向上

- 3.1 就職支援戦略に基づいた施策の実施  
(キャリア教育との連携による低学年からの意識づけ，ターゲットを明確にした施策展開など)

### 4. ★学生が自らの未来を描く教育プログラムの改革

- 4.1 キャリアを描き実現するための戦略的プログラムの実施  
(教養教育・基礎教育の改革，自校教育の導入，キャリア教育の体系化)
- 4.2 教育の質保証をめざした教学改革の実施，質保証体制の構築  
(非常勤教員へのシラバス内容の指示，科目の体系化と科目間の授業内容摺り合わせ，授業アンケート結果の組織的な活用など)

### 5. ★大学院の強化と研究の活性化

- 5.1 高度専門的職業人を育成する大学院教育の改革（大学院進学率の向上）
- 5.2 国際的に通用する研究の推進による院生の国際化と研究レベル向上
- 5.3 創造的研究活動を支える環境の整備

### 6. ★学生の活気あふれる教育・研究環境の実現

- 6.1 学生満足度調査の継続的实施と結果に基づく満足度向上計画の策定・推進  
(窓口サービスの改善，学部学科毎の満足度向上施策の実施)
- 6.2 留学生の積極的獲得の拡大と適切な学習・生活支援の実施
- 6.3 男女共同参画社会の実現に向けた女子学生支援施策の実施
- 6.4 課外活動の活性化に向けた具体的施策の決定と実施

### 7. ★新たな教育・研究体制の構築（教育・研究マネジメント体制の強化）

- 7.1 新たな研究プロジェクトの立ち上げ（「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」への応募）
- 7.2 教育開発センターの充実によるFDの推進と教育力向上
- 7.3 外部連携・国際交流の活性化による教育・研究の充実
- 7.4 学部・大学院の教員持ち単位の合算などの制度改革の実施

### 8. ★マネジメント体制の再構築

- 8.1 学部マネジメント体制の構築と，学部・学科の事業計画の策定と計画に沿った事業の実施
- 8.2 教員人事制度改革のコンセプトと諸制度の基本方針の策定

## Ⅲ. 附属中学校・高等学校

### 1. ★中高大一貫教育体制の構築

- 1.1 大学教員による実験教室・課題研究を高校3つのコースへ拡大
- 1.2 入試制度改革・内部推薦基準の見直しの検討と策定

### 2. ★学力の向上と学習環境の整備

- 2.1 大学生によるチューター制度の本格的な運用
- 2.2 第1志望校への進学率の向上
- 2.3 家庭学習の充実と改善
- 2.4 教務システムの活用と整備（生徒カルテの導入）
- 2.5 校内生活環境の整備と充実

### 3. ★教育力の向上と教育評価制度の確立

- 3.1 教科目標の公表と達成度評価の実施
- 3.2 大学との交流制度の検討と人事交流パートナー校の開拓
- 3.3 新人教員の企業研修とSSTへの参加

### 4. ★科学的論理思考を育成する教育の推進

- 4.1 研究論文の作成，プレゼンテーション教育の一層の強化
- 4.2 理科教育の強化，SPPを目指した取り組みの実施

### 5. ★国際交流の推進

- 5.1 留学生・帰国子女の受け入れの拡大
- 5.2 ホームステイによる国際交流の強化と高校生のホームステイの拡大

## Ⅳ. 生涯教育事業・社会貢献事業

### 1. エクステンション事業の基盤強化

- 1.1 学園広報に貢献する主軸講座の強化
- 1.2 国際交流センターとの連携
- 1.3 特別事業によるエンrollmentマネジメント形成

### 2. 理科教育事業による社会貢献

- 2.1 中高大院連携の社会認知度向上
- 2.2 東日本大震災被災地への支援
- 2.3 博物館実現準備とエンrollmentマネジメント形成